

活動結果報告書

1 はじめに

「ゴミゴミ調査隊」はゴミのポイ捨てに憤りを覚えている若者達を中心としたメンバー7名で編成している。

今回堀川1000人調査隊に参加し、堀川周辺の清掃活動および各種調査を行ったので報告する。

2 活動時期および活動場所

- 平成17年10月28日（金）～平成17年12月16日（金） 計5回
- お昼休みに納屋橋周辺で活動

3 調査概要

- 納屋橋周辺の清掃活動とゴミ分析
- 堀川の水温および導電率、pH測定

4 調査結果

	10月28日 (導水あり)	11月 2日 (導水なし)	11月16日 (導水あり)	11月24日 (導水なし)	12月16日 (導水あり)
満潮・干潮	—	干潮	干潮	満潮	満潮
外気温度 (℃)	26.0	22.6	20.0	15.9	13.0
水温 *1 (℃)	19.0	17.0	12.5	12.2	8.6
風量 (m/s)	0.4	0.1	1.2	0.6	0.65
導電率 ($\mu\text{s/cm}$) 参考: 水 10 $\mu\text{s/cm}$	—	5700	5000	7500	3500
pH 参考: 中性 7.0	—	6.1 (弱酸性)	6.8 (中性)	6.8 (中性)	7.8 (アルカリ性)
川の様子	・濁っている ・枯れ葉が多く浮いている。 ・臭いなし	・臭いがかなり強い	・枯れ葉が多く浮いている ・やや臭いあり	・枯れ葉や黒い粒が多く浮いている ・やや臭いあり	・少し透明 ・落ち葉浮遊なし ・臭いほぼなし
拾ったゴミ	・煙草の吸い殻 ・コンビニ袋 ・ビール缶 ・雑誌	・煙草の吸い殻 ・煙草の包み紙 ・ワンカップ瓶 ・使用済口紅	・煙草の吸い殻 ・落ち葉	・煙草の吸い殻 ・落ち葉	・煙草の吸い殻

*1・・・水温は放射温度計にて測定

5 調査結果についての

<導電率>

「堀川は川ではなく港である」とパンフレットに記載されていたが、今回の調査結果は証明できる内容となった。

特に庄内川からの導水が「ある」「なし」は導電率に大きな影響を与えている。

「導水なし・満潮」の場合、一番塩分濃度が高くなるため、導電率は $7500\mu\text{s}/\text{cm}$ という結果になっている。



導電率測定の様子

<pH>

海水はアルカリ性であるため、「導水なし・満潮」の時にアルカリ性（海水）という結果が出ると思われたが、逆に「導水あり・満潮」の方がアルカリ性になった。

<川の様子>

最初の頃は水の濁りがひどかったが、12月頃は少し透明になっていた事から少しではあるがきれいになってきていると感じた。

臭いについては、庄内川の「導水なし・干潮」の時が一番強く感じた。

(水位が下がったせいかヘドロのような臭いがした)

「導水あり・満潮」時が一番臭いがなかった。



10月28日に撮影した堀川



12月18日に撮影した堀川

<拾ったゴミ>

ゴミを回収した中で「煙草の吸い殻」が圧倒的に多かった。

特に納屋橋周辺は人通りが激しいからか歩道と車道脇の排水路付近に集中していた。

また堀川沿いには休憩できるスポットがあるが、ゴミ箱がないせいかコンビニ袋、空き缶などのゴミが捨てられていた。



5 まとめ

今回初めて堀川1000人調査隊に参加し、まず隊数の多さに驚いた。それに加え、数々の隊員がさまざまな観点から堀川を調査、その内容が行政へ伝わって動き、堀川が一步ずつではあるが浄化へ進んでいる事が分かった。